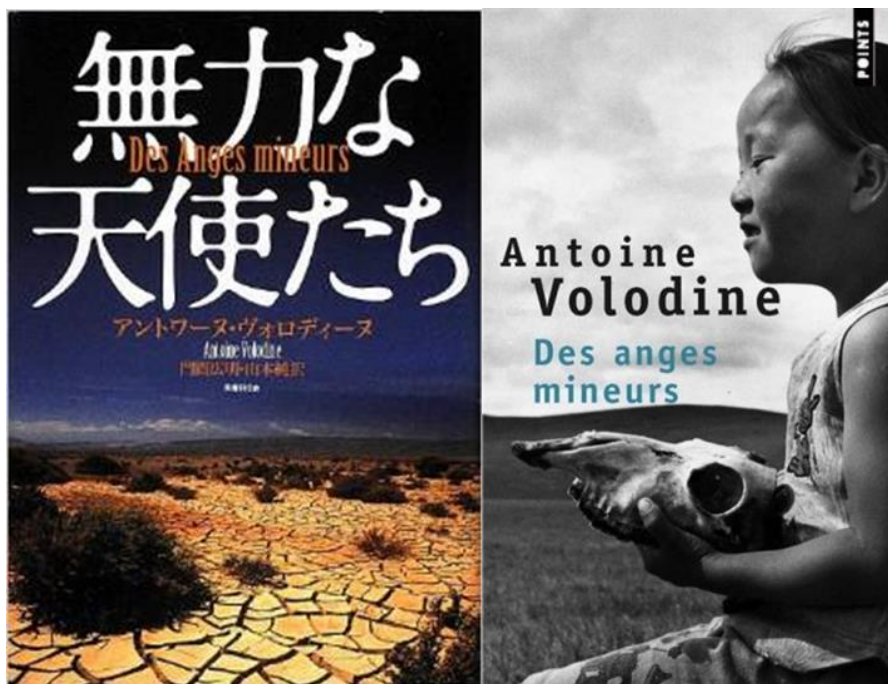


朗読と対話

(通訳あり)

アントワーン・ヴォロディーヌの 二つの小説をめぐって

——『無力な天使たち』と『骨の山』——



ぼろ切れから生み出された「救世主」、荒廃した世界で資本主義を復活させたヴィル・シャイドマンが、生みの親である不死の老婆達に語った、四十九の断章からなる、結末を欠いた奇妙な物語。(「BOOK」データベースより)

『無力な天使たち』（門間広明・山本純訳、国書刊行会、2012 年）および『骨の山』（濱野耕一郎訳、水声社、2015 年 1 月 9 日刊行）の作者アントワーン・ヴォロディーヌ氏が来日し、これら二つの作品の朗読と、フランソワ・ビゼ氏（東京大学准教授）、『無力な天使たち』訳者の門間広明氏（本学非常勤講師）との対話をおこないます。入場無料・予約不要。どうぞふるってご参加ください。

2015 年 1 月 13 日（火）18 時 15 分～19 時 45 分

早稲田大学 戸山キャンパス 3 6 号館 5 階 5 8 1 教室

連絡先：フランス語フランス文学コース 03-5286-3681